

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29511	保育実習指導Ⅱ	竹内・中島・斉藤・赤津	2年次・通年	演習・1単位	保育士選択必修

授業の概要 / Course Outline
<p>保育実習Ⅱの事前・事後指導を行う。事前指導では、保育実習Ⅰの振り返りを通して、保育実習Ⅱにおける目標や課題を明確にする。さらに、実習時に必要な知識や技術を習得する。事後指導では、実習での体験や実習記録をもとに、保育や子ども及び保護者支援に対する理解を深めることで、保育士の専門性について考察する。これらの学びを通して、保育等に対する自己の認識を自覚し、保育士としての自己の課題を明確にする。</p>

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
・保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。	A-②、B-②
・既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。	B-①、D-②
・保育士の専門性について理解を深める。	A-②、C-②
・保育等に対する自己の認識を自覚し、保育士としての自己の課題を明確にする。	C-①、D-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	0%	
レポート試験 Report Examination	80%	事前:実習計画書及び授業時の課題 事後:実習記録や授業時の課題
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	20%	書類等の提出状況や授業での取り組み

教科書 / Textbooks
特に指定しない。必要に応じてプリントや資料を配布します。

参考書 / Reference Books

予習・復習 / Preparation・Review
<p>事前:保育実習Ⅰでの学びを振り返り、既習の教科目での学びを踏まえて実習計画書を作成する。 事後:事例を作成する。(実習で自らが体験したことをもとに事例を記入し、子どもに対する関わりや援助を振り返り考察する。)</p>

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks

特記事項 / Special Note
<p>配属実習には履修制限があるので、履修に際して確認すること。原則として、児童福祉施設の現場に出ることを希望する者のみが履修できる。また、実習後には個別に振り返りの面談を行う。 【実務家教員】赤津和子 保育士、管理職としての経験をもとに、保育実習を行う際に必要な保育所の役割や機能、保育士の業務等について講義し、実習に臨む心構えを指導する。 【実務家教員】斉藤ひとみ 保育士、管理職としての経験をもとに、保育実習を行う際に必要な保育所の役割や機能、保育士の業務等について講義し、実習に臨む心構えを指導する。</p>

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	<b>【事前指導】保育実習Ⅱの目的や概要</b>
	保育実習Ⅱの目的や概要を理解する。必要な手続きを理解する。
02	<b>【事前指導】実習課題の明確化</b>
	保育実習Ⅰの振り返りから得た気づきをもとに、保育実習Ⅱの目標や課題を考え、実習計画書を作成する。
03	<b>【事前指導】指導案の作成</b>
	責任実習に向けた指導案の視点と書き方を学び、指導案を立案・作成する。
04	<b>【事前指導】実習における計画(グループでの共有)</b>
	責任実習に向けた指導案を立案・作成し、模擬保育を通して計画の視点や書き方に対する理解を深める。
05	<b>【事前指導】実習における計画(グループでの共有)</b>
	責任実習に向けた指導案を立案・作成し、模擬保育を通して計画の視点や書き方に対する理解を深める。
06	<b>【事前指導】実習における計画(グループでの共有)</b>
	責任実習に向けた指導案を立案・作成し、模擬保育を通して計画の視点や書き方に対する理解を深める。
07	<b>【事前指導】実習に関する留意事項</b>
	実習中の留意事項や心構えについて確認する。実習事前事後等に必要な手続きを理解する。
08	<b>【事後指導】実習での学びに対する自己評価</b>
	実習計画書をもとに、実習を通して学んだことを振り返り記録するとともに、実習評価票を用いて、実習の自己評価を行う。
09	<b>【事後指導】事例の説明及び作成</b>
	事例の書き方を理解し、実習で自らが体験したことをもとに事例を記入し、子どもに対する関わりや援助を振り返る。
10	<b>【事後指導】グループワーク1(事例を発表し共有する)</b>
	各自が作成した事例を発表し、互いの実習経験をもとに話し合い学びを深める。
11	<b>【事後指導】保護者支援の視点の説明とおたよりの作成</b>
	各自が作成した事例内容をともに、保護者支援の視点を理解し、保護者への伝え方を考える。
12	<b>【事後指導】グループワーク2(おたよりを発表し共有する)</b>
	各自が作成したおたよりを発表し、保護者支援の視点を確認しながら気づきを伝え合い学びを深める。
13	<b>【事後指導】個別の支援計画の説明と作成</b>
	個別の支援計画の作成の仕方を理解し、各自が作成した事例で出てくる子どもの支援計画を作成する。
14	<b>【事後指導】グループワーク3(支援計画を発表し共有する)</b>
	各自が作成した支援計画を発表し、グループで1つ選びさらに深めてグループとしての支援計画を作成する。
15	<b>【事後指導】グループとしての支援計画の発表・自己の課題の明確化</b>
	支援計画の発表を通して援助における視点を深める。これまでの学びを通して、保育士としての自己の課題を明確にする。